

第3回若者おうえん基金報告書（速報版）



若者おうえん基金



2020年度

若者おうえん基金とは

若者おうえん基金は、首都圏若者サポートネットワークが造成・運営する基金です。最大の特徴は、伴走者への助成を通じて困難を抱えた子ども・若者たちを支援することです。みなさまから広くご支援を募り、集まったお金を助成金として伴走者たちへ給付し、子ども・若者たちの支援に役立てます。

首都圏若者サポートネットワークとは

首都圏若者サポートネットワークは、児童養護施設や里親など、なんらかの事情があって「社会的養護」と呼ばれる公的な支援のもとで育った子ども・若者たちが、社会のなかでみずからの力を発揮して生きていくことを応援する民間のネットワークです。

困難を抱えた当事者の子ども・若者に対して、一対一で継続的な支援(=伴走型支援)をおこなう「伴走者」をはじめ、子ども・若者の支援に携わるさまざまな団体・個人、協同組合、学識者などが連携をとり、①基金造成 ②助成金給付 ③就労・キャリア支援 ④調査研究・政策提言の4つの事業をとおして、子ども時代につらい経験をした子ども・若者たちをサポートしていきます。

設立の目的

児童養護施設や里親など、「社会的養護」と呼ばれる公的な支援のもとで育つ子どもたちは、日本だけで約4万6千人います。彼らのなかには、幼いころに虐待をはじめとしたつらい経験をしている人も多く、生きるうえでの困難を抱えていることが少なくありません。そのため、ひとりひとりの個性や実情にあわせた丁寧なサポートが必要となります。

しかし、18歳になると彼らは、施設や里親家庭を出て自立することが求められます。また、何らかの事情により、18歳を前に社会的養護の環境から出ていく子どもたちもいます。

18歳前後の若者が大人たちのサポートなしに自立するには、多くの困難があります。子ども時代のつらい経験がある若者ならばなおさらです。しかし、より困難な状況にあればあるほど、既存の制度では対応ができず、伴走者たちの持ち出しによって支援がおこなわれているのが現状です。

子ども時代につらい経験をしたのみならず、自立においてもさまざまな困難を抱える子ども・若者たちを、彼らに寄り添って活動する伴走者たちへのサポートを通じて応援するべく、このネットワークは立ち上がりました。

メッセージ

若者おうえん基金へのご支援、誠にありがとうございました。

お陰様で、第3回若者おうえん基金造成キャンペーンでは、22,057,162円のご寄付をいただき、伴走支援枠7件、先駆的実践枠8件の助成をおこなうことができました。

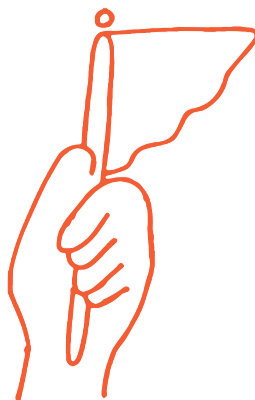
新型コロナ感染拡大が長期化しているため以前にも増して若者を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、皆様のお力添えを活かし、若者たち一人ひとりに寄り添い、多様な自立に向けて伴走支援をおこなっている事業者を、資金面とネットワークを活用した繋がり支援する活動をしっかりとおこなってまいりたいと思います。

引き続きどうぞよろしく願いいたします。

首都圏若者サポートネットワーク 事務局長
池本修悟

目次 | Contents

- 2 若者おうえん基金とは
首都圏若者サポートネットワークとは
設立の目的
- 3 メッセージ
- 4 基金造成結果と助成採択団体
- 7 ご支援(寄付)について



首都圏若者サポートネットワーク事務局

若者おうえん基金は、首都圏若者サポートネットワークが造成・運営する基金です。

所在地 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目24-10
アソルティ新橋ビル5階 ユニバーサル志縁センター内

E-mail info@wakamono-support.net

事務局団体 公益社団法人ユニバーサル志縁センター
一般社団法人くらしサポート・ウィズ
日本労働者協同組合連合会

公式サイト <https://wakamono-support.net/>

基金造成結果と助成採択団体

第3回若者おうえん基金 造成結果

第3回若者おうえん基金では、クラウドファンディング等による基金造成をおこない、社会的養護下で育った子ども・若者たちの伴走者への助成(詳細は後述)に活用しました。

キャンペーン期間 2020年8月28日～11月26日

寄付総額 **22,057,162** 円

基金造成の内訳

内訳	金額(円)
生活クラブ東京	6,397,000
生活クラブ埼玉	5,232,000
生活クラブ神奈川	3,096,000
生活クラブ東京単協寄付付きカレンダー寄附金	201,573
コープみらい財団	200,000
チャリティ自販機(生活クラブ飯能DC)	569,704
チャリティ自販機(伊藤園)	525,033
チャリティ自販機(ハチヨウ飯能営業所)	91,666
第3回若者おうえん基金クラウドファンディング	3,739,000
口座振込、クレジットカード等	2,005,080
受取利息	106
合計	22,057,162

助成採択団体

社会的自立が困難な状況に置かれている若者の多様な自立に向けて、伴走者への助成を通じて支援する「伴走支援枠」と、より有効な支援策・制度作りにつながる活動に助成する「先駆的実践枠」の助成採択団体は以下のとおりです。

伴走支援枠

* 7団体に総額5,825,200円を助成。

助成先団体	所在地	申請内容(概要)	助成額(万円)
自立援助ホーム フィオーレ	埼玉県	自立援助ホーム退所後に生活が行き詰まってしまった若者への伴走支援。住居支援の初期費用を助成し、病院への通院や、金銭管理の支援をおこない、自立に向けた支援をおこなう。	78
一般社団法人 Masterpiece	神奈川県	親からの身体的・精神的虐待により、2歳から18歳まで施設で生活をした児童への伴走支援。資格取得のための学費を助成金で補助する他、精神科に通院する対象者のメンタル面のサポートをおこなう。	75
自立援助ホーム home	神奈川県	自立に困難を抱える施設退所児童(主に支援対象者4名)に、安心して共に生活、あるいは生活の一部を支援者と共にすごせる場を提供する。支援スタッフが居住し、随時対応できる環境を整え支援をおこなう。	150
NPO法人 神奈川県子ども支援センター つながぐ	神奈川県	性被害から避難をしている児童2名への伴走支援。大学の学費の一部補填や、参考書の購入費などを助成。緊急支援終了後も定期的に連絡を取り長期的に伴走支援をおこなう。	35
自立援助ホーム カリヨンとびらの家	東京都	親からの虐待から逃れ、自立援助ホームに入所した児童に対する学習支援費用への助成。成績優秀で上位大学を目指す児童へ大学進学後の一人暮らしに向けて伴走支援をおこなう。	90.22
自立援助ホーム マラナ・タ ハウス	東京都	自立援助ホーム退所後に生活が行き詰まってしまった若者への伴走支援。当面の住居費用や病院への付き添いの支援をおこない、自立に向けてサポートする。	118.5
自立援助ホーム 経堂憩いの家	東京都	退所後再び支援が必要になった3名への伴走支援。新型コロナにより収入が減少した学生への学費支援や、定期的な面談による伴走支援のための費用に充てる。	35.8

助成先の採択について

伴走支援枠、先駆的実践枠の両枠とも、書類選考と面接にて、選考委員が必要性、緊急性、信頼性の評価基準を5点満点で評価し、その点数を踏まえて、選考委員の合議の上で決定しました。選考委員は次のとおり(敬称略)。

◎委員長: 小木曾宏(東京経営短期大学) ◎委員: 朝比奈ミカ(中核地域生活支援センターがじゅまる)、伊藤由理子(生活クラブ連合会)、岡本正(銀座パートナーズ法律事務所 弁護士)、日野原雄二(社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会)

先駆的実践枠

* 8団体に総額13,390,000円を助成。

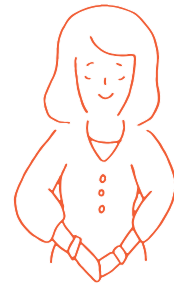
助成先団体	所在地	申請内容(概要)	助成額(万円)
認定NPO法人 みらいの森	東京都	児童養護施設で暮らす高校生に向けた「リーダー実習プログラム」卒業生のネットワーク構築。卒業生同士がお互いを支え合い、必要に応じてスタッフやボランティアの支援を受けられる居場所を確立する。	140
一般社団法人 Masterpiece	神奈川県	社会的養護を巣立った若者向けに、空き家をリフォームしたシェアハウスを新規開設する事業。生活困窮や孤立などの課題を抱える若者の衣食住を支援する。	250
自立援助ホーム Cape Diem	埼玉県	自立援助ホームの入所児童が一人暮らしを1~3ヶ月ほど体験するステップハウスを運営する事業。施設退所前に一人暮らしをすることで、自立に向けた課題などを体験する。	99
NPO法人 プレイグラウンド・オブ・ホープ	東京都	社会的養護経験者に対し、「実社会生活訓練プログラム」を提供する事業。在学中からの職場見学や、自立生活をしながらの1年間のトライアル就業をおこない自立に向けた支援をおこなう。	200
NPO法人 フェアスタートサポート	神奈川県	児童養護施設等で生活する児童に、職業適性検査や会社見学、就労体験等の機会を提供。自身の興味や適正を十分に加味した就労を支援し、就職後の定着支援も実施することで離職率の低下につなげる。	200
一般社団法人 青少年自助自立支援機構	埼玉県	高年齢で保護され、公的サポートが不十分なまま自立を迫られ生活困窮に陥っている社会的養護出身者に対し、それぞれの特性に合わせたパーソナルな就労前訓練プログラムを実施する。	290
NPO法人 パノラマ	神奈川県	校内居場所カフェの卒業生に対する、LINEを利用した相談支援体制を構築し、アウトリーチを介した相談伴走支援をおこなう。事例の分析・検討をおこない社会に発信をする。	110
NPO法人 学生支援ハウスようこそ	東京都	児童養護施設等を退所した学生向けシェアハウスの新型コロナ感染対策費用を助成。感染症対策の担当職員を配置する人件費や、マスク、消毒液などの購入費。	50

助成先の採択について

伴走支援枠、先駆的実践枠の両枠とも、書類選考と面接にて、選考委員が必要性、緊急性、信頼性の評価基準を5点満点で評価し、その点数を踏まえて、選考委員の合議の上で決定しました。選考委員は次のとおり(敬称略)。

◎委員長: 小木曾宏(東京経営短期大学) ◎委員: 朝比奈ミカ(中核地域生活支援センターがじゅまる)、伊藤由理子(生活クラブ連合会)、岡本正(銀座パートナーズ法律事務所 弁護士)、日野原雄二(社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会)

ご支援(寄付)について



首都圏若者サポートネットワークでは、社会的養護のもとに育った子ども・若者たちへの支援活動を「若者おうえん基金」へのご寄付によって実施しています。

※募金額の85%を若者おうえん基金の助成にあて、15%を運営経費に使わせていただきます。

※基金の受け皿となる公益社団法人ユニバーサル志縁センターは平成31年4月1日(認定日)、内閣総理大臣より「公益社団法人」としての認定を受けました。若者おうえん基金へのご支援(寄付)には、特定公益増進法人に対する寄附金としての税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の損金算入限度額の特例が受けられます。

クレジットカード決済でのご支援

インターネットからクレジットカードにてお申し込みいただけます。右記QRコード、もしくは下記URLからお手続きください。1回ごとのご寄付と毎月の継続ご寄付をお選びいただけます。

◎お申込ページ <https://syncable.biz/associate/wakamonoSN/donate>



銀行振込・郵便振替でのご支援

お近くの銀行やATMなどから下記口座へお振込みください。また、郵便局の窓口を設置してある「払込取扱票」または「郵便振替払金領込請求書兼受領証」でもお振込みいただけます。どの口座にお振込みいただいても、ご寄付先は「若者おうえん基金」となります。

※恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

三菱UFJ銀行

銀行名	三菱UFJ銀行
支店名	田町支店
口座種類	普通
口座番号	1440825
口座名義	公益社団法人ユニバーサル志縁センター 代表理事 池田徹

中央労働金庫

銀行名	中央労働金庫
支店名	田町支店
口座種類	普通
口座番号	184608
口座名義	公益社団法人ユニバーサル志縁センター 若者おうえん基金 事務局長 池本修悟

ゆうちょ銀行(他銀行からお振込の場合)

銀行名	ゆうちょ銀行
支店名	〇一九店
口座種類	当座
口座番号	0421027
口座名義	若者おうえん基金
カナ	ワカモノオウエンキキン

郵便振替(ゆうちょ銀行からお振替の場合)

口座記号番号	00100-1-421027
口座名義	若者おうえん基金
カナ	ワカモノオウエンキキン

ソフトバンク「つながる募金」でのご支援

スマートフォンやPCから簡単に寄付ができるソフトバンクの「つながる募金」でも、「若者おうえん基金」をご支援いただくことができます。ソフトバンクの携帯電話利用料金の支払いと一緒に継続的なご寄付ができるだけでなく、貯まったTポイントでのご寄付も可能です(ソフトバンクのスマートフォンをご契約の方限定)。くわしくは首都圏若者サポートネットワーク公式サイト「ご支援について」ページ(右記QRコード)をご覧ください。

